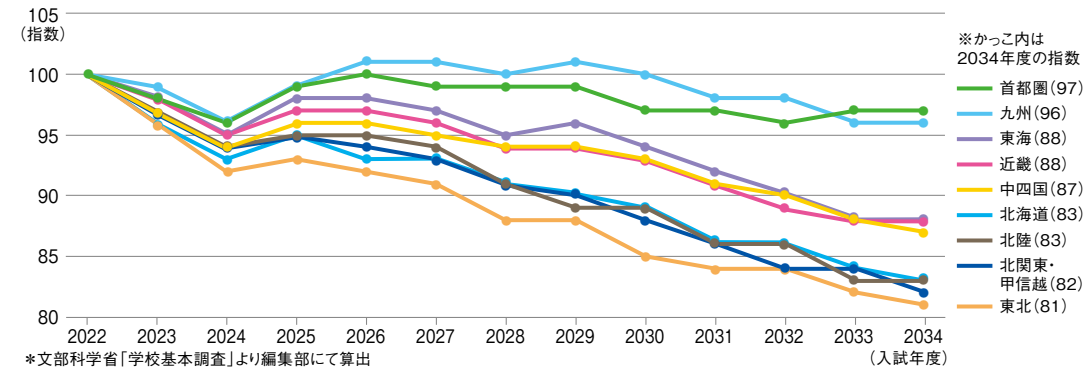


【図表4】都道府県別基礎データ[2021年実績値+2040年推計値(2021年基準)]

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
2021年												
18歳人口	45,007	11,830	11,379	20,998	8,171	10,269	17,622	27,454	18,417	18,806	64,508	54,908
高校等卒業生数	40,596	11,056	10,585	19,412	7,586	9,555	16,130	25,234	17,183	16,849	56,216	49,294
大学進学者数	21,039	4,975	4,460	9,982	3,345	4,097	7,215	14,797	9,063	8,971	35,056	30,362
大学進学率	46.7%	42.1%	39.2%	47.5%	40.9%	39.9%	40.9%	53.9%	49.2%	47.7%	54.3%	55.3%
(国公私別)	国 10.0% 公 3.4% 私 33.4%	国 12.0% 公 5.1% 私 25.0%	国 11.2% 公 5.4% 私 22.6%	国 9.3% 公 2.6% 私 35.6%	国 14.4% 公 4.4% 私 22.2%	国 11.0% 公 3.2% 私 26.2%	国 7.6% 公 2.1% 私 30.1%	国 8.5% 公 2.0% 私 43.3%	国 8.5% 公 3.7% 私 38.8%	国 7.9% 公 0.9% 私 36.0%	国 4.2% 公 0.9% 私 49.3%	国 4.3% 公 0.6% 私 50.4%
短大進学率	4.1%	4.8%	4.2%	4.6%	5.9%	4.7%	5.0%	2.7%	4.0%	4.2%	3.5%	3.1%
専門学校進学率(現役)	20.8%	14.8%	17.8%	16.2%	16.5%	18.1%	15.6%	17.2%	16.9%	15.5%	16.1%	17.6%
大学数	37	10	6	14	7	6	8	10	9	15	27	27
(国公私別)	国 7 公 6 私 24	国 1 公 2 私 7	国 1 公 1 私 4	国 2 公 1 私 11	国 1 公 3 私 3	国 1 公 2 私 3	国 1 公 2 私 5	国 3 公 1 私 6	国 1 公 0 私 8	国 1 公 4 私 10	国 1 公 1 私 25	国 1 公 1 私 25
入学定員	18,806	3,363	2,509	11,511	2,090	2,766	3,579	6,461	4,668	5,785	28,855	25,751
(国公私別)	国 5,600 公 1,345 私 11,861	国 1,322 公 516 私 1,525	国 1,030 公 440 私 1,039	国 2,722 公 420 私 8,369	国 955 公 665 私 470	国 1,663 公 145 私 958	国 945 公 599 私 2,035	国 3,760 公 170 私 2,531	国 910 公 0 私 3,758	国 1,098 公 1,482 私 3,205	国 1,535 公 395 私 26,925	国 2,592 公 180 私 22,979
大学入学者数	19,119	3,407	2,544	11,713	2,075	2,792	3,451	6,697	4,823	5,983	28,847	27,402
県外から流入	4,954	1,363	1,281	6,061	1,194	1,868	1,822	3,727	2,639	3,249	18,497	17,051
県内から流出	6,874	2,931	3,197	4,330	2,464	3,173	5,586	11,827	6,879	6,237	24,706	20,011
流出入差(流入-流出)	-1,921	-1,568	-1,916	1,731	-1,270	-1,305	-3,764	-8,101	-4,240	-2,988	-6,209	-2,961
自県進学率	67.3%	41.1%	28.3%	56.6%	26.3%	22.6%	22.6%	20.1%	24.1%	30.5%	29.5%	34.1%
2040年												
18歳人口推計	28,500	6,466	6,434	13,971	4,306	5,967	10,142	17,097	11,623	11,517	46,401	39,801
大学進学者数推計	16,213	2,905	2,719	7,090	1,996	2,522	4,661	10,443	5,943	5,833	27,982	24,374
大学進学率推計	56.9%	44.9%	42.3%	50.7%	46.3%	42.3%	46.0%	61.1%	51.1%	50.7%	60.3%	61.2%
大学入学者数推計	15,553	2,772	2,070	9,529	1,688	2,271	2,807	5,448	3,924	4,867	23,468	22,292
(国公私別)*	国 4,683 公 1,167 私 9,704	国 1,115 公 447 私 1,210	国 869 公 385 私 816	国 2,261 公 369 私 6,899	国 801 公 565 私 322	国 1,375 公 120 私 776	国 806 公 492 私 1,509	国 3,115 公 139 私 2,194	国 756 公 0 私 3,168	国 929 公 1,262 私 2,676	国 1,300 公 330 私 21,837	国 2,144 公 146 私 20,002
入学定員充足率推計	82.7%	82.4%	82.5%	82.8%	80.8%	82.1%	78.4%	84.3%	84.1%	84.1%	81.3%	86.6%
(国公私別)*	国 83.6% 公 86.7% 私 81.8%	国 84.4% 公 86.6% 私 79.3%	国 84.4% 公 87.5% 私 78.5%	国 83.1% 公 87.7% 私 82.4%	国 83.9% 公 84.9% 私 68.5%	国 82.7% 公 83.0% 私 81.0%	国 85.3% 公 82.2% 私 86.7%	国 82.8% 公 81.8% 私 86.7%	国 83.1% 公 85.1% 私 83.5%	国 84.6% 公 84.7% 私 81.1%	国 84.7% 公 83.6% 私 81.4%	国 82.7% 公 81.4% 私 87.0%

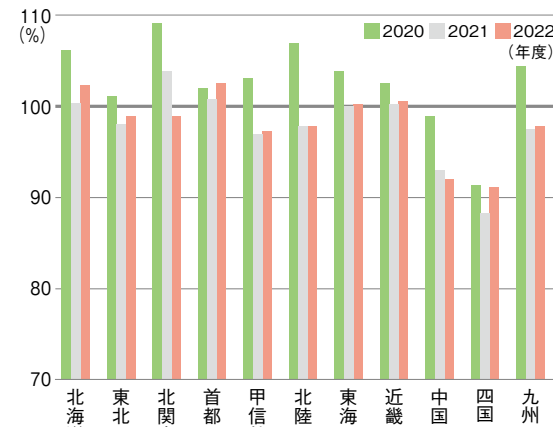
*文部科学省提供。推計方法は中教審大学分科会(第174回)「大学入学者数等の将来推計について」を参照された。
*2040年の国公私別推計は2021年の国公私の割合(実績値)を使って機械的に試算したもの

【図表1】エリア別18歳人口指数推移予測(2022年度を100とした場合)



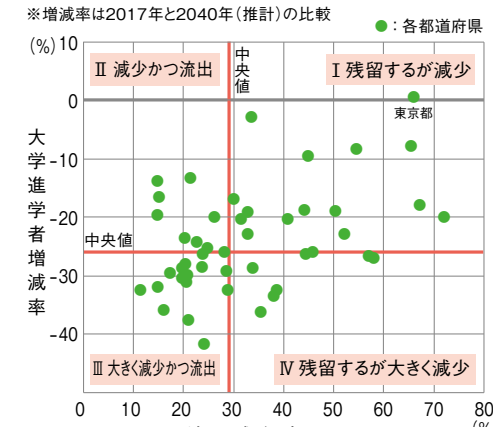
*文部科学省「学校基本調査」より編集部にて算出

【図表3】私立大学 エリア別入学定員充足率(3か年)



*日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」地域別の動向(大学・学部別)(2020~2022年)

【図表2】大学進学者増減率×地元残留率



*中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申) 参考資料集」(2018年)

エリア別

2040年の学生募集予測

人口減の影響は、この先、学生募集にどのような形で表れるのか。エリアごとの状況と将来推計を紹介する。

全体の概況

18歳人口は、「図表1」で基準としている2022年度時点より12・1万人。2034年度は100・6万人になる見込みだ。九州エリアを除くと、少なくとも今後12年間は2022年度の人口を上回ることはない。

【図表2】は、各都道府県の「2040年に地元に残る大学進学者がどれだけ減るか」をイメージするための散布図だ。各点は都道府県を表す。大学進学者は東京都以外全て減少、東京都の増加率もわずかだ。残留率が低く流出者が多いII、IIIの地域の大学は、自学の獲得戦略はもとより、地域内で連携し、地元で進学する魅力を創出する必要があるだろう。地元残留率は高いが大学進学者が減るI、IVの地域には、入学者を増やす新たな施策が求められる。大学進学希望者を増やす方法の検討や、進学を希望しながら諦めざるを得ない

い層への支援に取り組みたい。特に、私立大学は抜本的な対策が必要だ。2022年度時点で入学定員が充足しているのは11エリア中、北海道、首都圏、東海、近畿の4エリアのみ【図表3】。3か年で見ると、首都圏以外は充足率が低下傾向、特に中国、四国エリアは厳しい。次項以降は進研アド各支社が分析した、エリアごとの状況と今後の展望だ。都道府県ごとの基礎数値をまとめた【図表4】も併せて参照されたい。

北海道

2022年度の私立大学の入学定員充足率は100%を超えたものの、これは一部の大学の入学者数が定員を大きく上回った影響が大きい。2023年度入試では、ほとんどの私立大学で一般選抜の志願者数が前年度比2〜3割減。すでに厳しい局面を迎えている。

エリアの特徴としては、地元進学率が67%と高い。ただし、エリア内に設置されている学部系統に偏りがあり、看護・保健が多く、国際系、理工系は非常に少ない。志望する学部がなければ他エリアに進学するしかない環境だ。産業面でも、働ける職種の偏りが、女子の大学進学率の低さに影響している。また、エリア内専修学校への進学者も女子が多い。したがって、地元大学進学者を増やすには女性の労働市場拡大が必要だ。主要産業である観光はコロナ禍で大きな影響を受けたため、今後、産業構造が変わる可能性がある。インバウンド政策によるグローバル人材の需要拡大に加え、DX化が新産業を進展させれば、女性の雇用環境の変化も期待できる。大学も新たな学問分野に進出し、女性の活躍の場を広げる後押しをしたい。(大学改革推進室・河野政文)

東北

2023年度入試では、ほとんどの私立大学の志願者数が前年割れし、2割以上減少した大学も複数あった。隔年現象ではなく、減少傾向にある大学が多い。一方で、

大学進学率が30%台と低かった宮城県以外の各県も含め、進学率上昇の傾向が見られている。

東北エリアでは、国による半導体産業強化の動きを背景に、かつて主要産業だった半導体に再び注目が集まっている。日本版シリコンバレーをめざそうという機運が発生し、企業、自治体、国立大学、高専等による連携組織も生まれた。また、各県は産業界の人材ニーズの変化を受けて、創業支援に力を入れている。高校では探究学習や起業家教育を本格化させ始めた。探究学習を強化する高校は人気を集め、生徒募集がV字回復した私立高校もある。

私立大学は、このようなエリアが求める人材像の変化への対応が、国立大学や高校に比べて一歩遅れている印象だったが、2023年度、東北学院大学が大規模な学部改組を実施。地域総合学部、情報学部、人間科学部、国際学部を新設し、エリアが求める人材の育成に本腰を入れ始めた。

国立大学を含めて、募集が好調な大学には、地域を共につくり出す動きが見られる。エリア内から志願者を集めるには、エリアの変化に合わせた教育内容のアップデートが求められるだろう。(東北支社長・高橋良太)

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	
2021年													
18歳人口	14,328	23,145	79,549	51,482	12,973	8,809	5,195	6,233	18,190	26,108	12,219	6,581	
高校等卒業生数	12,836	22,526	71,803	45,157	11,585	8,163	4,820	6,014	17,342	22,985	10,855	6,054	
大学進学者数	7,185	15,965	47,469	29,769	7,877	4,366	2,177	2,748	9,328	14,387	4,706	3,246	
大学進学率	50.1%	69.0%	59.7%	57.8%	60.7%	49.6%	41.9%	44.1%	51.3%	55.1%	38.5%	49.3%	
(国公私別)	国 6.7% 公 3.3% 私 40.1%	国 8.6% 公 4.2% 私 56.1%	国 5.9% 公 3.0% 私 50.7%	国 8.9% 公 4.2% 私 44.8%	国 10.5% 公 3.9% 私 46.3%	国 9.5% 公 3.9% 私 36.2%	国 14.2% 公 5.1% 私 22.6%	国 12.5% 公 7.0% 私 24.6%	国 12.7% 公 4.2% 私 34.4%	国 11.4% 公 5.2% 私 38.5%	国 10.0% 公 4.9% 私 23.6%	国 16.0% 公 3.4% 私 29.9%	
短大進学率	4.7%	4.1%	4.6%	3.6%	4.2%	4.0%	7.2%	5.0%	4.0%	2.9%	4.5%	4.0%	
専門学校進学率(現役)	15.3%	13.1%	13.7%	12.1%	11.2%	16.6%	18.0%	20.1%	17.3%	10.7%	14.2%	14.9%	
大学数	9	34	56	36	11	5	3	2	18	21	10	4	
(国公私別)	国 2 公 1 私 6	国 3 公 4 私 27	国 2 公 2 私 52	国 2 公 4 私 30	国 3 公 2 私 6	国 1 公 2 私 3	国 1 公 1 私 1	国 1 公 1 私 0	国 1 公 2 私 15	国 1 公 5 私 15	国 1 公 3 私 6	国 2 公 0 私 2	
入学定員	7,548	35,123	54,721	27,777	4,858	2,035	1,519	1,617	9,905	13,399	4,211	2,893	
(国公私別)	国 945 公 600 私 6,003	国 3,706 公 1,046 私 30,371	国 4,155 公 2,863 私 47,703	国 2,690 公 1,902 私 23,185	国 730 公 348 私 3,780	国 890 公 280 私 865	国 1,139 公 300 私 80	国 1,157 公 460 私 0	国 2,195 公 550 私 7,160	国 2,336 公 1,570 私 9,493	国 1,917 公 1,084 私 1,210	国 1,388 公 0 私 1,505	
大学入学者数	7,661	35,049	56,375	27,050	4,777	2,038	1,554	1,682	9,068	13,328	4,306	2,638	
県外から流入	6,052	26,717	28,439	13,866	3,648	1,261	1,223	1,203	5,111	5,662	3,090	1,455	
県内から流出	5,576	7,633	19,533	16,585	6,748	3,589	1,846	2,269	5,371	6,721	3,490	2,063	
流出入差(流入-流出)	476	19,084	8,906	-2,719	-3,100	-2,328	-623	-1,066	-260	-1,059	-400	-608	
自県進学率	22.4%	52.2%	58.9%	44.3%	14.3%	17.8%	15.2%	17.4%	42.4%	53.3%	25.8%	36.4%	
2040年													
18歳人口推計	10,577	16,391	57,966	35,927	8,025	5,623	3,616	4,373	13,161	18,831	7,908	4,327	
大学進学者数推計	6,243	12,389	40,022	23,042	5,548	3,279	1,754	2,040	7,694	10,398	3,046	2,298	
大学進学率推計	59.0%	75.6%	69.0%	64.1%	69.1%	58.3%	48.5%	46.7%	58.5%	55.2%	38.5%	53.1%	
大学入学者数推計	6,232	28,513	45,862	22,006	3,886	1,658	1,264	1,368	7,377	10,843	3,503	2,146	
(国公私別)*	国 779 公 508 私 4,945	国 3,108 公 880 私 24,525	国 3,480 公 2,394 私 39,988	国 2,251 公 1,543 私 18,211	国 626 公 283 私 2,977	国 764 公 229 私 665	国 944 公 256 私 63	国 981 公 387 私 0	国 1,836 公 469 私 5,071	国 1,958 公 1,364 私 7,520	国 1,599 公 905 私 999	国 1,157 公 0 私 989	
入学定員充足率推計	82.6%	81.2%	83.8%	79.2%	80.0%	81.5%	83.2%	84.6%	74.5%	80.9%	83.2%	74.2%	
(国公私別)*	国 82.4% 公 84.7% 私 82.4%	国 83.9% 公 84.2% 私 80.8%	国 83.8% 公 83.6% 私 83.8%	国 83.7% 公 81.1% 私 78.5%	国 85.8% 公 81.4% 私 78.7%	国 85.8% 公 81.6% 私 76.9%	国 82.9% 公 85.4% 私 79.3%	国 84.8% 公 84.2% 私 -	国 83.6% 公 85.3% 私 70.8%	国 83.8% 公 86.9% 私 79.2%	国 83.4% 公 83.5% 私 82.6%	国 83.3% 公 -	国 -

	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	富山県	石川県	福井県
2021年												
18歳人口	104,150	78,433	7,768	20,242	19,807	20,034	34,622	71,537	17,458	9,656	10,574	7,584
高校等卒業生数	101,997	67,477	7,874	18,424	18,071	17,986	31,948	63,402	15,401	8,898	10,073	7,246
大学進学者数	78,180	44,498	5,018	9,269	8,698	9,760	16,879	38,573	7,864	4,561	5,607	4,104
大学進学率	75.1%	56.7%	64.6%	45.8%	43.9%	48.7%	48.8%	53.9%	45.0%	47.2%	53.0%	54.1%
(国公私別)	国 6.7% 公 1.0% 私 67.3%	国 3.7% 公 1.2% 私 51.8%	国 9.5% 公 5.7% 私 49.4%	国 8.5% 公 4.1% 私 33.2%	国 9.6% 公 4.0% 私 30.4%	国 9.1% 公 3.2% 私 36.4%	国 8.4% 公 4.0% 私 36.4%	国 9.6% 公 2.5% 私 41.3%	国 8.7% 公 3.9% 私 33.8%	国 13.5% 公 5.6% 私 28.2%	国 13.7% 公 5.2% 私 34.1%	国 14.6% 公 6.3% 私 33.3%
短大進学率	1.9%	2.9%	5.4%	6.9%	3.8%	5.4%	3.5%	3.1%	4.9%	6.4%	5.7%	4.8%
専門学校進学率(現役)	11.8%	14.7%	17.9%	19.5%	24.6%	12.4%	15.7%	12.1%	12.8%	15.8%	13.5%	13.9%
大学数	146	32	7	11	22	13	14	52	7	5	14	6
(国公私別)	国 12 公 2 私 132	国 2 公 2 私 28	国 1 公 2 私 4	国 1 公 4 私 6	国 3 公 4 私 15	国 1 公 3 私 9	国 2 公 4 私 8	国 4 公 3 私 45	国 1 公 1 私 5	国 1 公 1 私 3	国 2 公 4 私 8	国 1 公 2 私 3
入学定員	153,377	44,893	4,169	4,020	6,699	4,940	8,090	41,964	3,190	2,575	6,502	2,300
(国公私別)	国 9,716 公 1,570 私 142,091	国 1,662 公 1,130 私 42,101	国 825 公 990 私 2,354	国 1,978 公 960 私 1,082	国 2,467 公 765 私 3,467	国 1,240 公 200 私 3,500	国 2,145 公 935 私 5,010	国 3,976 公 1,764 私 36,224	国 1,310 公 100 私 1,780	国 1,770 公 495 私 310	国 1,726 公 590 私 4,186	国 855 公 450 私 995
大学入学者数	153,519	45,619	4,245	4,163	6,592	4,825	7,970	42,461	3,303	2,588	6,492	2,362
県外から流入	100,599	28,384	3,012	2,276	3,132	2,679	3,165	14,960	1,554	1,640	3,813	1,083
県内から流出	25,261	27,263	3,785	7,382	5,238	7,614	12,074	11,072	6,115	3,613	2,928	2,825
流出入差(流入-流出)	75,339	1,121	-773	-5,106	-2,106	-4,935	-8,909	3,888	-4,561	-1,973	885	-1,742
自県進学率	67.7%	38.7%	24.6%	20.4%	39.8%	22.0%	28.5%	71.3%	22.2%	20.8%	47.8%	31.2%
2040年												
18歳人口推計	102,821	57,768	5,006	12,557	12,502	12,172	21,904	54,496	11,241	6,165	7,369	5,142
大学進学者数推計	82,811	35,649	3,669	6,738	6,084	6,854	10,888	31,686	5,508	3,355	4,423	3,121
大学進学率推計	80.5%	61.7%	73.3%	53.7%	48.7%	56.3%	49.7%	58.1%	49.0%	54.4%	60.0%	60.7%
大学入学者数推計	124,890	37,112	3,453	3,387	5,363	3,925	6,484	34,543	2,687	2,105	5,281	1,922
(国公私別)*	国 8,180 公 1,295 私 115,415	国 1,381 公 955 私 34,776	国 692 公 875 私 1,887	国 1,646 公 819 私 922	国 2,072 公 1,799 私 2,619	国 1,029 公 1,179 私 2,717	国 1,762 公 855 私 3,867	国 3,329 公 1,489 私 29,725	国 1,086 公 83 私 1,518	国 1,490 公 390 私 225	国 1,435 公 504 私 3,342	国 728 公 395 私 799
入学定員充足率推計	81.4%	82.7%	82.8%	84.2%	80.1%	79.5%	80.1%	82.3%	84.2%	81.8%	81.2%	83.5%
(国公私別)*	国 84.2% 公 82.5% 私 81.2%	国 83.1% 公 84.5% 私 82.6%	国 83.9% 公 88.3% 私 80.1%	国 83.2% 公 85.3% 私 85.2%	国 84.0% 公 87.8% 私 75.5%	国 83.0% 公 89.5% 私 77.6%	国 82.1% 公 91.4% 私 77.2%	国 83.7% 公 84.4% 私 82.1%	国 82.9% 公 83.0% 私 85.3%	国 84.2% 公 78.9% 私 72.4%	国 83.1% 公 85.5% 私 79.8%	国 85.2% 公 87.7% 私 80.3%

関東・甲信越

今後の大学進学者数の減少は、東京都を除いて不可避であり、首都圏外から首都圏への流入は減り、また北関東・甲信越では、自県や隣接県からの進学者も減少していくことが見込まれる。

2023年度入試では、定員規模の大きい首都圏の一部の大学を除いて志願者が減少し、入学定員充足に苦戦した大学も少なくなっている。北関東、甲信越は看護、医療技術系の学部が多く、年内入試へのシフト等も影響してか、共にエリア全体として*15%ほどの志願者減となった。もはや、学力重視型の一般選抜だけで入学者を確保することは難しく、募集の好調の定義も、「志願者が多く集まる」ことから「年内入試も含めた多様な入試制度で自学が欲しい学生が集まる」ことにシフトしている。

募集が好調な大学には共通点がある。まず、「どのような受験生を求め、どんな力をどこまで育成するのか」というメッセージに一貫性がある点。そして、教育の特色や成果が明確で、入試環境の変化や高校の変化に合わせて、学生募集や教育の目的・目標を柔軟に設定している点。新設・改組にも積

以外の3県は自県と愛知県からの進学者が7割以上を占める。多くの大学は、他エリアからの志願者獲得は難しいと考え、募集エリアを広げる動きは見せていない。その分、国公立大学も含めて、他エリアへの流出防止に神経をとがらせ、募集力強化のための学部改組が活発だ。南山大学、名城大学、名古屋市立大学などで、データサイエンス系の学部学科設置が続く。

2023年度入試は、私立大学の一般選抜志願者数がエリア全体で*2万3千人減少。多くの大学が前年割れとなった。志願者獲得につながる独自性のある学部学科が検討されていく中、4年制大学の併設短大の動きも注目される。至学館大学は2022年度、アスレティックトレーナーの受験資格を得られる短期大学部体育学科を4年制の体育科学科に改組。特色を生かして募集力強化を図った例だ。

愛知県は、リニア、航空、自動車の各産業に力を入れている。SDGsやカーボンニュートラルの推進にあたり、各産業の環境負荷を軽減する技術や、それを実現するスタートアップ企業のニーズが高まっている。今後、企業の期待目を広報資源に還元できる大学に注目が集まるだろう。(中部支社企画営業部長・金子令)

中部

各県ともエリア内進学者が多い。愛知県は自県と岐阜県から、愛知

近畿・北陸

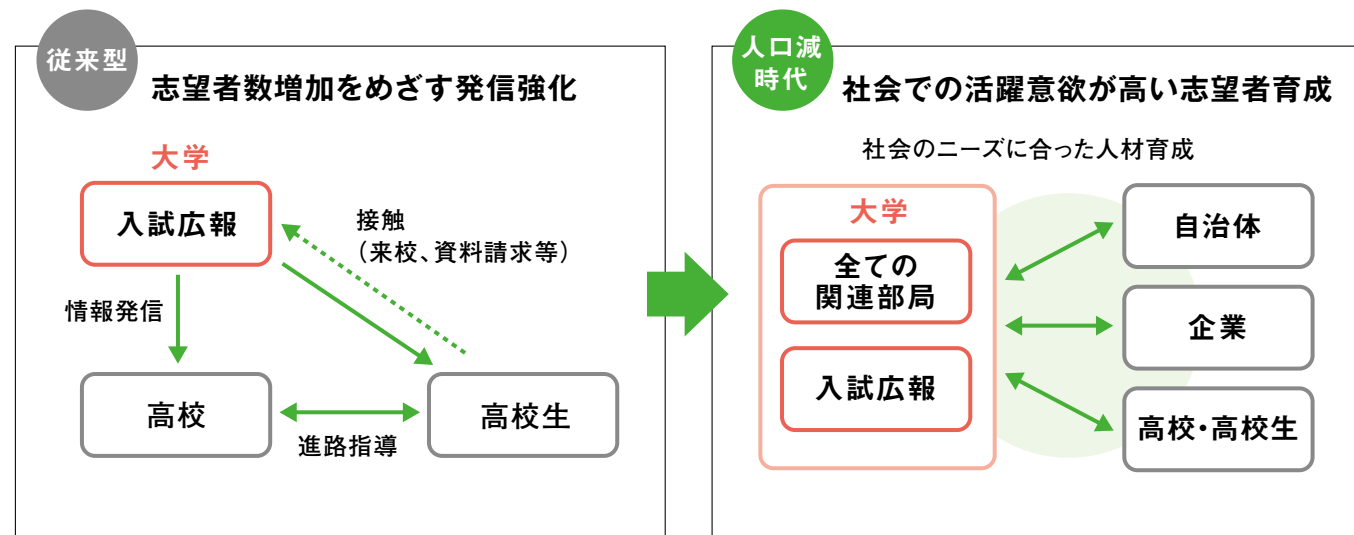
エリア全体として大学進学率が高い。特に京都府は約70%で、東京都に次ぐ。エリア内での流出入を見ると、滋賀県、福井県から京都府に、兵庫県、奈良県、和歌山県から大阪府に流れる傾向がある。また、北陸は関西圏の大規模私大への流出が苛烈になってきている。2023年度入試では、大規模私大が好調な一方で、一部の私大は苦戦し、明暗が分かれた。

地元はもちろん、他エリアや海外の優秀な学生にも、魅力ある地域として発展するための動きが事欠かない。奈良女子大学における女子大初の工学部新設は話題になったが、理工系を含む新設・改組が、2024年度は20以上予定されている。万博の行われる2025年度以降に大きな周年を迎える大学も多く、改組や都市部へのキャンパス移転が次々と続く。

北陸3県は、2023年度入試の私立大学一般選抜では、前年割れする大学がほとんどだった。志願者数が2年連続で減少している大学も多い。現在と同様の募集構造では、いずれ定員を充足しなくなる大学は少なくないだろう。大学間の連携や統合、企業や自治体

*1 豊島経男事務所調べ(2023年5月2日現在)

【図表5】人口減時代の学生募集5つのポイント



ポイント① 目標設定	地域における役割を明確にしたうえで数年後の到達点を定め、連続的な単年度の指標数値を算出
ポイント② データ収集・分析	目標達成に必要なデータを精選し、月次・イベント時など分析計画に沿って状況を確認
ポイント③ 募集活動	接触者一人ひとりの行動(生活・学習)変化、心理変化を可視化し、志望度を高める施策を重視
ポイント④ 組織体制	入試広報の部署だけではなく、入口～出口が一気通貫できる全学的な委員会やプロジェクトを組織
ポイント⑤ 予算配分	前年踏襲ではなく、各施策の重視度に合った組み立て

	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
2021年											
18歳人口	9,310	12,483	6,184	46,524	8,412	12,691	16,741	10,244	10,517	15,625	16,363
高校等卒業生数	8,593	11,445	5,891	41,516	7,697	11,857	15,073	9,745	9,842	14,227	14,424
大学進学者数	4,840	6,144	2,845	22,333	3,455	5,434	7,075	4,091	4,180	6,126	7,002
大学進学率	52.0%	49.2%	46.0%	48.0%	41.1%	42.8%	42.3%	39.9%	39.7%	39.2%	42.8%
(国公私別)	国 13.5% 公 3.7% 私 34.7%	国 14.8% 公 4.2% 私 30.2%	国 9.9% 公 6.2% 私 29.8%	国 9.3% 公 3.0% 私 35.7%	国 12.3% 公 2.1% 私 26.7%	国 14.2% 公 5.3% 私 23.3%	国 10.1% 公 3.4% 私 28.8%	国 13.5% 公 4.2% 私 22.3%	国 12.8% 公 4.2% 私 22.8%	国 12.0% 公 2.4% 私 24.8%	国 9.6% 公 3.4% 私 29.8%
短大進学率	4.8%	4.5%	4.3%	4.4%	4.2%	3.8%	3.2%	7.1%	4.7%	7.2%	3.6%
専門学校進学率(現役)	15.8%	17.1%	16.1%	16.1%	16.5%	15.5%	18.1%	20.1%	16.1%	19.6%	24.0%
大学数	4	5	5	35	2	8	9	5	7	6	8
(国公私別)	国 1 公 1 私 2	国 1 公 1 私 3	国 1 公 2 私 2	国 3 公 4 私 28	国 1 公 0 私 1	国 1 公 6 私 1	国 1 公 7 私 1	国 1 公 3 私 1	国 1 公 4 私 2	国 2 公 0 私 4	国 1 公 3 私 4
入学定員	2,189	3,860	2,215	25,761	1,818	3,986	5,712	3,520	2,335	3,683	3,972
(国公私別)	国 1,239 公 90 私 860	国 1,770 公 100 私 1,990	国 1,075 公 860 私 280	国 4,110 公 1,999 私 19,652	国 1,278 公 0 私 540	国 1,641 公 730 私 1,615	国 1,667 公 480 私 3,565	国 1,070 公 80 私 2,370	国 1,035 公 300 私 1,000	国 2,053 公 0 私 1,630	国 1,547 公 640 私 1,785
大学入学者数	2,092	3,875	2,212	25,963	1,817	3,914	5,643	3,029	2,174	3,652	4,153
県外から流入	1,260	1,840	1,459	11,422	1,244	1,942	2,357	1,947	1,096	1,601	937
県内から流出	4,008	4,109	2,092	7,792	2,882	3,462	3,789	3,009	3,102	4,075	3,786
流出入差(流入-流出)	-2,748	-2,269	-633	3,630	-1,638	-1,520	-1,432	-1,062	-2,006	-2,474	-2,849
自県進学率	17.2%	33.1%	26.5%	65.1%	16.6%	36.3%	46.4%	26.4%	25.8%	33.5%	45.9%
2040年											
18歳人口推計	6,054	7,871	3,924	38,596	6,114	8,734	12,888	7,335	7,589	11,545	14,641
大学進学者数推計	3,517	4,389	2,021	18,989	2,670	4,347	5,566	3,172	3,129	4,808	6,952
大学進学率推計	58.1%	55.8%	51.5%	49.2%	43.7%	49.8%	43.2%	43.2%	41.2%	41.6%	47.5%
大学入学者数推計	1,702	3,152	1,800	21,121	1,478	3,184	4,591	2,464	1,769	2,971	3,379
(国公私別)*	国 1,037 公 73 私 591	国 1,479 公 81 私 1,592	国 903 公 737 私 159	国 3,428 公 1,706 私 19,887	国 1,070 公 0 私 408	国 1,348 公 612 私 1,224	国 1,388 公 411 私 2,792	国 883 公 66 私 1,515	国 866 公 254 私 649	国 1,708 公 0 私 1,263	国 1,275 公 540 私 1,564
入学定員充足率推計	77.7%	81.7%	81.2%	82.0%	81.3%	79.9%	80.4%	70.0%	75.7%	80.7%	85.1%
(国公私別)*	国 83.7% 公 81.4% 私 68.8%	国 83.6% 公 81.4% 私 80.0%	国 84.0% 公 85.7% 私 56.9%	国 83.4% 公 85.3% 私 81.4%	国 83.7% 公 - 私 75.6%	国 82.1% 公 83.8% 私 75.8%	国 83.3% 公 85.6% 私 78.3%	国 82.6% 公 82.4% 私 63.9%	国 83.6% 公 84.6% 私 64.9%	国 83.2% 公 - 私 77.5%	国 82.4% 公 84.4% 私 87.6%

【図表4】を見ると、全国でも最も大学進学率が高く、他県からの流入者が多い東京都でも、入学定員が合わなければ、2040年

地域一体の未来創生に高校生を巻き込む

福岡県、沖縄県以外の私立大学が将来的に受験生を呼び込むには、その土地ならではのことが必要だ。公立高校ながら韓国語を本格的に学べるカリキュラムを備え、全国から入学者を集めている長崎県立対馬高校の取り組みなどが、一つの参考になるのではないかと九州支社長・横山宏治は語る。

九州・沖縄

大学等進学率が低いエリアのため、進学希望者の掘り起こしが重要だ。沖縄県は2020年時点で40・8%と現役進学率の低さが目立っていたが、その後の2年間で3・8ポイントも上昇。県教委は、県内進学にこだわらず、他県にも進学させる方針を打ち出している。エリア内では、福岡市が突出して活気がある。*3 政令指定都市の中で人口の増加数・増加率がトップ(2015~2020年)。若年層も増加傾向にあり、市内私立大学も学生募集が安定している。2023年3月に地下鉄七隈線が延伸し、博多駅に直結したため、今後、路線沿いの大学は受験生が増える可能性がある。

福岡県以外の県には、地元国立大学が少なく、福岡県への流出がめだっている。特に佐賀県は大学収容力が低いこともあり、受験生の多くが福岡県の大学に進学。大学を設置する動きがある。

福岡県、沖縄県以外の私立大学が将来的に受験生を呼び込むには、その土地ならではのことが必要だ。公立高校ながら韓国語を本格的に学べるカリキュラムを備え、全国から入学者を集めている長崎県立対馬高校の取り組みなどが、一つの参考になるのではないかと九州支社長・横山宏治は語る。

2023年度入試では、国公立大学と一部の私立理工系大学・学部を除き、志願者数が減少した大学が多い。エリア全体で人口転出超過の傾向にあり、*2 広島県は2年連続で全国最多、岡山県も全国6位となっている。広島市や香川県高松市は支店経済都市だったが、コロナ禍もきっかけとなり、多くの企業が支店を引き上げた結果、本社勤務となった社員が家族ごと転居。学力上位の高校生が流出し、トップ高校でも優秀な生徒の獲得に苦戦している。

一方で、地元就職を希望する生

九州・沖縄

徒・学生が多いエリアでもある。探究学習に力を入れる高校が増えているが、進学校であっても指導に苦労している様子がうかがえる。大学が高校や企業とのハブになって地域課題解決型の授業を支援し、地元就職希望者の後押しができれば、結果的に自学の募集にも好影響が出るだろう。

エリア内の大学設置者を見ると、市場の大きさに比して公立大学が多い。広島県は2021年に2校目となる県立大学を設置。山口県には公立大学が4校もある。入学者の学力差が大きくなり、教育に苦勞する大学もあるようだ。将来的には再編があると見ている。(中・四国支社長・横山宏治)

*2 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告 2022年結果」
*3 総務省統計局「令和2年国勢調査」